

# バリアフリー！！

2004年8月13日

みなさん「愛ランド…」お疲れ様でした！！とても良い経験になりました。 m(\_)\_m

「ボランティア愛ランド北海道 in とかち・帯広」で受け持った分科会のテーマです。

**バリアフリー** = **バリア**(障壁、さえぎるもの)がないこと。 4つの**バリア**！！

## 物理的なバリア

段差があったり、幅員が狭かったりして車いすで通れないなど、物理的なもの。画面タッチ式のキャッシュコーナーは目の不自由な方が、キーをタッチできないなど…。**ハード面**！

## 制度的なバリア

障害の有無や級によって資格などが制限されること。社会のルールも含まれます。盲導犬連れが利用できないホテル、レストラン。幼児連れおこわりのお店など…。

## 文化・情報面でのバリア

文化活動をするチャンスや必要な情報が平等でないこと。カルチャーセンターの講座に 手話通訳や託児がなかったりすること。列車事故の車内放送が耳の不自由な方に届かなかったり、目や耳の不自由な方への情報が不十分なことなど…。

## 意識上のバリア

認識不足のため優しくない街をつくってしまったり、言動によって相手を傷つけたりする心の**バリア**。駅前の迷惑駐輪。通学路や車いす用駐車スペースでの迷惑駐車。店の前の点字ブロックの上に看板を置くなどの行為。差別し、あざける心。無理解など…。**ハート面**

このように**バリア**にも、いろいろあります。

「愛ランド…」の分科会でも話しをしましたが、人それぞれの性格、それから障害によっても**バリア**と感ずる事は違ってきます。例え同じ障害を持っていたとしても、性格や考え方ひとつで、**バリア**と感ずる人とそうでない人がいます。(私は、**バリア**をあまり感ずない方かな?) (^\_^)v  
だから「**バリア**」とか「**バリアフリー**」だとか、一言で言えないんですよ。

工夫する事で**バリア**をなくす事も出来ます。それなりに努力は必要だと思いますが…。(道子ちゃんの場合、工夫もするけど**バリア**があっても越える！というよりは、**ブチ壊して通る？**って感ずかな??)

一番重要なのは、やっぱり意識上(心)の**バリア**！これだけは自分で越えたくても**ブチ壊**したくても、相手がある事だからそうも行かない！！ま、理解してもらおう為の努力は出来るだろうけど、理解されるかどうかは相手次第?? (^\_^;)v

障害は決して他人事じゃないんですけどネ。自分や身内、それから身近な人が**事故**又は**病気**、**加齢**等で障害を持った時に、初めて自分事として障害と向き合う人が殆ど。その時に世間の風の冷たさを実感することに…。(世間も捨てたもんじゃないから、暖かい気持ちを貰うことも！)

障害者も社会に関わり、**バリア**を越える努力を！そして受け入れる側も、障害に対しての理解を！

ボランティアの輪・あんだんて 島 道子